

# バイリンガルで ろう児は育つ

3月上旬  
発売!!

日本手話プラス書記日本語で教育を!

監修●佐々木倫子 (桜美林大学) 編者●全国ろう児をもつ親の会

手話を知り、手話で語り、手話で考え、手話で教育を受ける……自然でごく当然のここの実現へ! 世界のバイリンガルろう教育の流れと得られた知見を紹介し、日本における実践を方向づける、ろう者、親、ろう教育関係者必読の書。



定価●2100円 (税込) 判型●四六判上製 / 184頁

【主な目次】

日本手話と日本語対応手話

第1章 言語的少数者の教育としてのろう教育

——木村護郎クリストフ

- 1 言語的少数者とは? / 2 音声言語的少数者とうろ者の共通点 / 3 言語的少数者としてのろう者の特徴 / 4 言語的少数者のなかのろう者 / 5 ろう児にとってのバイリンガル教育の意義 / 6 他の言語的少数者との連携に向けて

第2章 バイリンガル教育とろう児の母語としての手話言語

——スクトナブ・カンガス (中村成子訳)

- 1 言語の未来 / 2 言語が消滅する理由 / 3 言語権人権の文脈における「差配人なき」新帝国主義的支配 / 4 言語に関する権利をもつのは誰か / 5 「母語」の定義 / 6 母語喪失の代償 / 7 結論

第3章 手話力と学力との関係に関する研究

——ジム・カミンズ (中島和子訳)

- 1 はじめに / 2 音声言語における第一言語と第二言語の関係 / 3 就学前幼児のアメリカ手話と英語を媒介とする学力の獲得・増進 / 4 学齢期のろう児のASLの力と英語力との関係 / 5 授業言語としての手話言語使用は学力獲得に貢献するか / 6 おわりに

第4章 スウェーデンのろう学校より

——ケーシユティン・オールソン

(荒川明久十全国ろう児をもつ親の会訳)

- 1 1890年までの流れ / 2 1891年から現在まで

第5章 日本におけるバイリンガルろう教育

——佐々木倫子

- 1 なぜバイリンガル教育なのか / 2 ろう児の家庭におけるバイリンガルの視点 / 3 ろう児の学校におけるバイリンガルの視点 / 4 コミュニティにおけるバイリンガルの視点 / 5 達意のバイリンガルになるために

ISBN978-4-903690-19-3 C0037

## バイリンガルでろう児は育つ

定価●2100円

ご住所 〒

TEL

冊

お名前

生活書院

●全国の書店でご注文いただけます。小社へ直接注文の場合は、①郵便振替前払 (送料一律 300 円)、②代金引替 (送料+手数料一律 450 円) をご利用ください。

↓ 返信先 Fax:03-3226-1204